

## 前回意見と修正内容説明

| 番号 | 意見   | 修正内容説明  |
|----|--|---|
| 1  | ・細かな話ですが、WESTERのロゴおよびアプリQRコードを挿入いただけますと幸いです。その他は特段申し上げることはございません。  | QRコード(iphone,Android用)はスペースの都合上、省略させていただきました。   |
| 2  | 表面<br>・ビクトグラムのデザインがよい。<br>・公共交通利用の様々なメリットが記載されているが、現状は誰にとってどういったことができていないものが、公共交通で通学するとどういった状況がもたらされるかをアピールしてはどうか。<br>・通学利用を促進するためのリーフレットであっても、通学する子供、友達、先生、家族の視点があると思われる。<br>・「親の送迎なら告白する（告白される）チャンスがない」や「彼女（彼氏）と一緒に電車やバスを待つ時間はあっという間」といった青春要素もあると届きやすいのかもしれない。<br>裏面<br>・公共交通の現状として利用数が激減しているグラフがあるが、リーフレットを受け取った高校生やその家族に、何を伝えたいのかが分からない。データだけではなく、彼らが行動を変容するようなメッセージが必要。<br>・実は便利といっても、マイカーの利便性に勝てないので、マイカーより劣る部分をどうしたら苦にならないか、そのためのツールとしてこんなものがある、といった流れだと自然に感じる。   | 主に高校生への配布であるため、公共交通以外の通学手段である自転車からの転換を念頭に置き、表面「安全な通学」において文章を修正しました。また、裏面のデータ下に公共交通利用を訴求する文章を記載しています。  |
| 3  | ・「公共交通利用の様々なメリット」の「安全な通学」の部分において、「しっかりと自宅周辺まで送り届けてくれるから、安心して利用できる」との記載があるが、地域によっては自宅から最寄りの駅やバス停までの距離が離れた所に住んでいる学生もいるので言い過ぎではないか。<br>・経路検索において、複数のサービスがある中でジョルダン乗換案内のQRコードを掲載しているのには何か理由があるか。<br>・裏面にある「便利な公共交通」として南海フェリーも紹介するのであれば、上段の「公共交通の現状」のグラフにもフェリーの利用者数を追加した方がよいのではないか。   | 安全な通学の文章を修正しました。また、経路検索につきましては、掲載許可が時間の都合上、困難であったため、前年度と同様Googleマップの案内掲載に変更しました。裏面グラフのフェリーについては、利用者数が大きく異なる交通機関を比較する場合、縦軸の記載に限りがあるため、今回は見送らせていただいております。   |
| 4  | 具体の修正意見ではありませんが、新規採用 2 名（いずれも今年 3 月に工業高校卒業・男性）に見てもらいましたので、ご参考にしてください。<br>・公共交通を利用していなかった高校生へ訴求すること多くの生徒は自転車での通学です。<br>自転車に変わる良いところを P R すべきと思います。<br>（メリット）<br>・雨の日には自転車はカッパでの通学で大変だけど、電車バスなら天候を気にせず通学できます。<br>・電車バスは、暑い日、寒い日でも冷暖房が完備されていて快適です。汗をかかずに通学できるので女子におすすめだと思います。<br>（デメリット）<br>・電車バスは自転車に比べ時間がかかってしまいます。<br>・遅刻のない通学とありますが、バスは渋滞するので遅刻すると思います。<br><br>視認性を向上させること<br>・裏面（グラフ側）は、突然話が変わって無理やり載せている感じがします。<br>・QRコードはググってみようと思うので良いと思います。<br>・ググりながら、みんなで会話できる内容なら見ると思います。   | 頂戴したご意見をもとに、修正させていただきました。<br>裏面データの記載につきましては、民間事業者の広告等では訴求されにくい公共交通全体のモビリティ・マネジメントの観点を踏まえ、現状周知、「乗って残す」という意識の醸成を図るため、記載しております。   |
| 5  | 1. チラシの表題の内容「・・・楽しい学生生活を！」は、高校生の目から見たら、説明文は楽しい学生生活を送るメリットになっているのでしょうか？<br>2. 各メリットの説明文は、今の高校生にスツと入り込めるでしょうか？<br>老人の私見ですが、堅苦しいような気がします。<br>（高校生や庁内の若い方々のご意見を伺ってしまいましたらすみません）<br>3. 休日の利用促進もできたら入りたい。<br>1) 休日も使えてお得な通学定期<br>2) 通学定期があれば、家族もお友達も割引乗車で一緒にお出かけ<br>＊和歌山バスさんの協力が必要で、本年度の予算がないと思われますので、実現は難しいと思いますが、他の地域での休日利用促進策を添付します。<br><br>4. 表題として、次のような案もあります。（富田林市を参考にしました。）<br>「乗って守ろう 通学の足」 ～後輩に繋ぐ公共交通～<br>＊利用者が減れば、公共交通はなくなります<br>（この案の背景）<br>1) 裏面に利用者のグラフを入れていることに対して、利用のお願いをすることが、表ページにない。<br>2) 交通事業者の目からみたら、楽しい学生生活で利用が増えると思われるか。事業者さんのご意見も伺いたい。<br>3) 通学の安全について、自動車の送迎の方が、リスクが少なく、子どもの勉強時間が長くとれている親がどれだけのいるでしょうか。<br>但し、このような家庭は、通学定期も買って自動車での送迎している方も多いと思われます。<br>4) 高校生の通学は、必然的に徒歩、自転車、公共交通となります。これ以外の方も公共交通へ誘導しないと利用者が増えない。しかしながら、これに該当する生徒はどれくらいいますか？<br>5) 高校生も社会参加の意欲があります。卒業後も公共交通を利用して支えるといった、社会参加の意識をつけることが、大きな目的と思われます。従って、3 項の休日の利用促進等が重要になってきます。 | ・表面の文章を修正しました。<br>・表題につきましては、「公共交通利用をしなければ、公共交通が無くなる」というネガティブな内容を全面に押し出した場合、高校、大学新入生がチラシ自体に興味を失ってしまうことを懸念し、表面は比較的正ポジティブな内容を掲載し、裏面で公共交通の現状や交通事業者様の具体的なサービスについて掲載するという構成にしております。<br>しかしながら、今後、内容につきましては、検討させていただければと思います。 |
| 6  | ・見やすくなり、従来のものより良くなったと思います。<br>・なお裏面で「公共交通利用者の減少傾向」を示すのであれば、それにより何を理解して欲しいか（公共交通が無くなったらまちがどうなるか等）、も併せて示せればなお良いかと思っています。   | 裏面のデータ下に公共交通利用を訴求する文章を記載しています。  |
| 7  | ・企業向けに対する通勤者への訴求も含めてご検討いただければと思います。  | 企業向けや他のターゲットに向けた利用促進策は今後、検討してまいりたいと思います。  |